



第22回アフリカ・アジアに生きる
大型類人猿を支援する集い



SAGA 22

2019年

11/16 17
(土) (日)

場所

(公財)日本モンキーセンター
ビジターセンター内 ホール
(愛知県犬山市)

テーマ

コミュニケーションで広がる
保全、福祉、研究の輪

主催：SAGA (アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い)

共催：(公財)日本モンキーセンター、京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

11/16(土)
1日目

10:20～ ごあいさつ

セッション. 1 動物園から伝えるメッセージ

- 10:30～ 「体験! 『アフリカの森』
～新チンパンジー・ゴリラ舎で伝えたいこと」
近藤裕治 (名古屋市東山動物園)
- 10:50～ 「動物をそんなに好きでもないヒトに、
動物園のおもしろさを知ってもらって、
動物を好きになってもらっています。」
鏡味芳宏 (日本モンキーセンター)
- 11:10～ 「動物福祉を体現し、伝えるためにできること」
富澤奏子 (大牟田市動物園)
- 11:30～ 「京都市動物園におけるゾウ繁殖プロジェクト
～ゾウを通じたラオスとのつながり～」
田中正之 (京都市動物園 生き物・学び・研究センター)

セッション. 2 生息地から伝えるメッセージ

- 13:30～ 「生まれた集団から移籍するメスの生活過程：
コンゴ民主共和国に生息するボノボの野外研究から」
戸田和弥 (京都大学霊長類研究所)
- 13:50～ 「北海道で野生のシャチを研究する」
三谷曜子 (北海道大学)
- 14:20～ 「おらがチンパンジー：村人の言葉と森の姿の比較」
森村成樹 (京都大学野生動物研究センター
/日本モンキーセンター)

セッション. 3 “おらけん” 特別セッション
スマトラ島のオランウータンとテナガザル
～最新の研究成果と保全について～

- 15:00～ 趣旨説明
- 15:10～ 招待講演 「スマトラ島における類人猿の
調査研究および保全活動に関する報告」
マシュー・ノヴァク (スマトラオランウータン保全センター)
- 16:00～ 「スマトラ島を訪ねて
～動物園で実践したこと、伝えたいこと～」
武田梓 (名古屋市東山動物園)

17:00～ 18:30 ポスターセッション
会場：ギボンハウス前 無料休憩所

18:30～ 20:30 頃 懇親会
会場：食事処「楽猿」

11/17(日)
2日目

10:00～ 開場

セッション. 4 コミュニティとともに広げる
保全、福祉、研究の輪

- 10:30～ 趣旨説明
- 10:40～ 「住民主体の保全体制を目指して
～コンゴ民主共和国ルオー学術保護区ワンバ村での試み」
徳山奈帆子 (総合研究大学院大学)
- 11:00～ 「メディアで伝わる？
大型類人猿の本来の暮らしと親子関係」
林美里 (京都大学霊長類研究所
/日本モンキーセンター)
- 11:30～ 「広告の視点で人と野生動物をつなぐ」
木下さとみ (株式会社電通)
- 12:00～ 総合討論

注意事項

- ・会場となるビジターセンターのホールは飲み物のみ可。
- ・動物園は16:00に閉園します。
閉園後の園内見学はできません。
- ・犬山駅行きの岐阜バスの最終便は18:09です。
懇親会、ポスターセッションに参加される方は
徒歩やタクシーをご利用ください。

ブース展示

会場：ビジターセンター内

- ・日本オランウータン・リサーチセンター
スマトラ・タパヌリ部門 (おらけんスマタパ)
- ・ポレポレ基金 (POPOF)
- ・市民ZOOネットワーク
- ・動物園学生くらぶ

ぜひ
お立ち寄り
ください★

要旨集はこちらから
ダウンロードできます↓

懇親会参加申込：11/16(土) 13:30までに
会場の申込用紙に氏名をご記入ください。
懇親会費 (飲酒あり 3,000円、なし 2,000円) は
懇親会開始時に会場入口で徴収します。

